

高速道路リニューアルプロジェクトでの異工種工事の導入

■ 効率的な施工のために～お客さまへの影響を最小限に！

- ◆ リニューアルプロジェクト事業においては、対面通行規制や昼夜連続車線規制による『床版取替工事』や『トンネル補強工事』（インバート設置工事や覆工補強工事等）を全国で施工
- ◆ 対面通行規制や昼夜連続車線規制等は、施工箇所の前後の交通条件に応じて設定するため、工事の施工延長に比べ比較的長くなる傾向がある



- ◆ 対面通行規制や昼夜連続車線規制は、社会的影響も大きいいため事前広報を実施
- ◆ 各高速道路では、更新必要箇所が点在しており、効率的な施工方法の検討が必要
- ◆ 交通への影響を最小限とするため、一度の規制において複数の工事を実施することが重要



- ◆ 複数の異なる工事を、一つの工事として契約することで、下記の効果を期待
 - ✓ 同じ区間での繰り返しの対面通行規制や昼夜連続車線規制を削減
 - ✓ 受注者による効率的な工事管理や安全管理の実施
 - ✓ 契約事務手続きを省力化

◆ 対面通行規制や昼夜連続車線規制を削減するイメージ

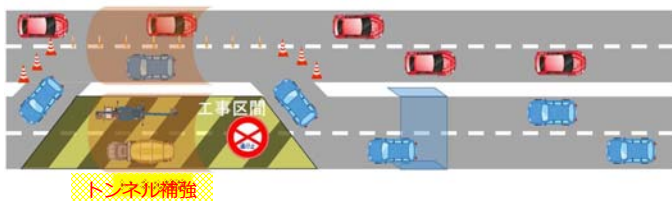
◆ 従来の計画

- 個別にリニューアル工事を発注
- 各年度で同じ区間で繰り返し工事規制が発生

■ Step 1



■ Step 2



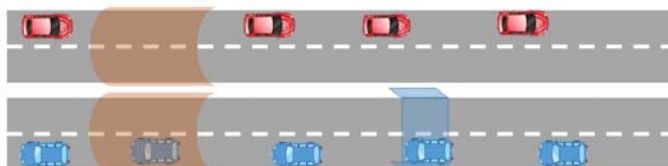
◆ 異工種工事による計画

- リニューアル工事を複数集約して発注（異工種工事）
- 一度の規制で効率的に工事実施

■ Step 1



■ なし



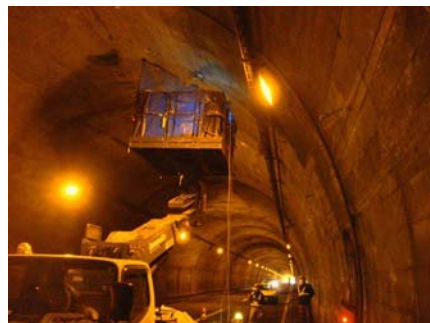
対面通行がなく、安全に走行可能

(参考) 異工種工事のイメージ

- ◆ 同時に施工する工事を『高速道路リニューアル工事』として1工事として契約
(通常は別々に発注するのに対し、「異工種工事」として契約)
- ◆ 複数の工種を実施できる企業の参加に加え、それぞれの工種を専門にする企業による共同企業体（JV）の参加が可能

高速道路リニューアル工事の実施イメージ（工事の組合せ）

床版取替工事とトンネル補修工事



床版補強工事とのり面補強工事



床版取替工事とトンネル補強工事とのり面補強工事

